



絆プロジェクトⅡ

～ 日常実践の充実を目指した教育活動へのチャレンジ ～

学習環境

教育課程

体力向上

外国語

キャリア

平成 29 年 10 月 4 日発行
No.13 文責 小林

キャリア

十勝に生まれたことを誇りに… そして、幸せだと感じてほしい。



9月29日(金), まずやパンの杉山社長が、5年生を対象にピザ作りと仕事に対する思いを講義してくださいました。

杉山社長は、地元産の原材料を使ったパン作りにこだわっていらっしゃる、子どもたちにも地産地消がどれだけ素晴らしく恵まれていることなのかを教えてくださいました。そして、それが叶う環境にいる自分達がどれだけ幸せであるかを実感し、地元を誇りをもって欲しいとおっしゃっています。その言葉通り、全国で数あるパン屋の中でも地元産100%にこだわって作っているのは、まずやパンのみだそうです。

そんな杉山社長のご指導のもと、子どもたちは、自分達が育てた野菜を使ったピザ作りを楽しみました。これもまた、地産地消! まずやパンで使用している十勝産小麦を分けていただき、地元の水、

自分達で作った野菜、しかも手作り……。美味しくないのでありません。子どもたちは、終始笑顔で授業に臨んでいました。また、中村農場さんにご協力いただいて作ったたまねぎのホイル焼きも準備していただき、給食時間に食べました。甘く、トロリとした食感に、子どもたちも衝撃を受けたのではないのでしょうか?

後半は、杉山社長の仕事に対する思いや実際のまずやパンでの業務を教えてくださいました。中でも「麦音」で行われている業務の一つが「お客様第一」に考えられていて、気持ちの良い環境で、安全で美味しいパンを最も美味しい状態で味わって欲しいという願いがいっぱい込められていることに子どもたちはとても感動していたようです。働くことの意義ややり甲斐、魅力が十分に伝わってくる素敵なお話により子どもたちは目を輝かせて聴き入っていました。また、杉山社長の夢を叶えるために「まずは絵に描いて、毎日意識できるように飾っている。」という話に感銘を受けた子どもたちからは、実際に真似をしてみたいとの声もあがり、自分の夢に向かって一歩前進できたようです。熱い思いをもって、絶えず努力を続けている本物の職人さんの話……。和田さん同様子どもたちにはかっこよく映ったのではないのでしょうか。

杉山さんが言っていた多くの人に、「小さな喜びをプレゼントする」という言葉が心に残りました。私は、将来「杉山さんや副店長さんみたいな優しく笑顔のステキな人になりたいです。そして、まずやパンで働いて、お客さんに「小さな喜び」と「ステキな笑顔」をプレゼントしたいという夢がもてました。

1組 女子

夢を実現するために、その夢を絵にかいていると聞いて、杉山さんはすごいなあと思いました。しかも、その絵を身の回りにはって、毎日見て夢のために何ができるかを考えているのがすごいです。私も杉山さんのように、夢について考えてみようと思いました。

2組 男子

ぼくは、「杉山さんみたいになりたい。」と思いました。なぜなら、「お客さんの笑顔を見るのがうれしい。」と言っていたからです。ぼくは、学校生活を笑顔で過ごしたいと思います。そうすれば、周りの人も笑顔になり、学校全体が明るくなると思ったからです。

3組 男子